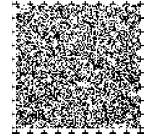




風船バレーや料理を趣味に持ち、休日にもボランティア活動に汗を流す山元健太郎さん



社会福祉法人鹿児島市手をつなぐ育成会
多機能型事業所 わくわくコスモス
やまもと けんたろう

[山元 健太郎] さん 鹿児島市

利用者から指導員へ 山元さんが選んだ道

軽度の知的障害があり、この春に武岡台養護学校を卒業した山元健太郎さん（19歳）。卒業後は自ら福祉の道をこころざし、かつては自身も利用した『多機能型事業所 わくわくコスモス』の指導員として活躍しています。

山元さんの指導員としての仕事は、バスの送迎補助、子どもたちの食事やトイレ、勉強、遊びの補助・指導など多岐にわたります。「はじめは何をすればいいのか、どう動けばいいのか戸惑いました」と話す山元さん。しかしすぐに「ためらってばかりで



食事の補助風景。目配りと心配りを欠かさず、利用者の突発的な動きにもスムーズに対応する

子ども好きの山元さん。178cm、80kgの大きな体で子どもたちを優しく包み込む



は子どもたちの動きに対応できない」と感じ、積極的に同僚スタッフの指示を仰ぎ、自ら進んで仕事を探すようになりました。178cm、80kgの大きな体いっぱい優しい人柄があふれる山元さん。今では仕事のリズムにも慣れ、毎日を楽しみ、一生懸命に仕事に取り組んでいます。

利用者の気持ちが分かる 指導員を目指して

乳幼児から高等部までの子どもたち10数名が利用する『わくわくコスモス』。「デイサービス事業」では、勉強、塗り絵、買い物体験、レクリエーションなどを通して生活学習の指導を行い、「児童発達支援事業」では、親子のふれあい遊び、絵本の読み聞かせ、お散歩などによって言

語や社会性の基礎を楽しく身につけていきます。

「自分が利用者だったからこそ、子どもたちの気持ちがよく分かるんです」と話す山元さん。利用者と同じ視点で学んだ指導員としての視点を発揮して子どもたちを見守ります。施設長の福田さんは「気は優しく力持ち。スタッフや保護者からの信頼も厚く、『大人になったら健太郎さんみたいに働きたい』と夢を語る子もいるんですよ」と話し、社会人として成長を続ける山元さんの姿に目を細めています。



送迎バスにおける乗り降りの補助から、点呼、座席の配置決めまで、責任ある仕事に真摯に取り組む日々

多機能型事業所
わくわくコスモス
鹿児島市石谷町1247-1
TEL 099-278-1148
FAX 099-208-2770



育成センター コスモス
鹿児島市犬伏町11234
TEL 099-238-0089
FAX 099-238-0092

